

社 会 資 本 総 合 整 備 計 画

新発田市東豊地区の防災まちづくりの推進（防災・安全）

第6回変更

令 和 6 年 9 月

新^に潟^い県^が新^た発^け田^ん市^し

（参考様式２）社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）

令和6年9月

計画の名称	新発田市東豊地区の防災まちづくりの推進（防災・安全）							変更回数	6	重点配分対象の該当	○						
計画の期間	令和2年度 ～ 令和6年度（5年間）			交付対象	新発田市												
計画の目標	当該計画地は、東豊地区の中心に位置し、都市計画道路や自転車歩行者専用道路に接しており、東豊小学校の通学路上にある。この計画地を中心に、災害時に避難困難区域が存在するため、現在の豊町コミュニティセンター跡地に防災機能を有した地区緊急避難施設「東豊コミュニティ防災センター」を設置する。平常時は、東豊地区の防災コミュニティ活動や防災イベントの開催等の場として、災害時は、防災備蓄庫の機能を有した指定緊急避難場所として整備し、避難困難者の解消を図ると共に復旧活動の拠点とする。 また防災マップ作成や避難経路誘導表示板を設置し、地域住民の災害に対する情報共有と、災害時の避難の円滑化を図る。 このほか、講演会や体験型防災イベントや合同防災訓練を実施することで、豊町と東新町の多世代間交流を促進し、コミュニティの醸成と災害時の協力体制の構築を図る。																
計画の成果目標（定量的指標）																	
地区緊急避難施設「東豊コミュニティ防災センター」を建設して、東豊地区の避難困難者を解消する。（設定：944人→0人）																	
東豊地区における防災訓練の参加者を増加させる。（設定：347人→382人）																	
定量的指標の定義及び算定式									定量的指標の現況値及び目標値			備考					
避難困難者数（東豊地区）									当初現況値	中間目標値	最終目標値						
									(R2当初)		(R6)						
									944人		0人						
									(R2当初)		(R6)						
									347人		382人						
合同防災訓練参加者数（東豊地区）									(R2当初)		(R6)						
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	522.8百万円	A	502.0百万円	B	－	C	20.8百万円	D	－	効果促進事業費の割合 C／(A+B+C+D)	4.0%					
交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
A13-001	都市防災	一般	新発田市	直接	新発田市	都市防災総合推進事業（地区公共施設等整備（東豊地区））	地区緊急避難施設整備 N=1棟	新発田市	R2	R3	R4	R5	R6	502.0	－	－	
																－	
																－	
																－	
																－	
																－	
																－	
小計													502.0		－		
C 効果促進事業																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
C13-001	都市防災	一般	新発田市	直接	新発田市		防災マップ作成事業（住民等のまちづくり活動支援（東豊地区））	防災マップ作成	新発田市	R2	R3	R4	R5	R6	4.8		
C13-002	都市防災	一般	新発田市	直接	新発田市		避難経路誘導表示板設置事業（住民等のまちづくり活動支援（東豊地区））	避難経路誘導表示板設置	新発田市						6.0		
C13-003	都市防災	一般	新発田市	直接	新発田市		防災講演会開催事業（住民等のまちづくり活動支援（東豊地区））	防災講演会開催	新発田市						5.0		
C13-004	都市防災	一般	新発田市	直接	新発田市		防災訓練実施事業（住民等のまちづくり活動支援（東豊地区））	防災訓練実施	新発田市						5.0		
小計													20.8				

(参考様式2) 社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）

令和6年9月

計画の名称	新発田市東豊地区の防災まちづくりの推進（防災・安全）			変更回数	6	重点配分対象の該当	○
計画の期間	令和2年度～令和6年度（5年間）		交付対象	新発田市			
計画の目標							
当該計画地は、東豊地区の中心に位置し、都市計画道路や自転車歩行者専用道路に接しており、東豊小学校の通学路上にある。この計画地を中心に、災害時に避難困難区域が存在するため、現在の豊町コミュニティセンター跡地に防災機能を有した地区緊急避難施設「東豊コミュニティ防災センター」を設置する。平常時は、東豊地区の防災コミュニティ活動や防災イベントの開催等の場として、災害時は、防災備蓄庫の機能を有した指定緊急避難場所として整備し、避難困難者の解消を図ると共に復旧活動の拠点とする。 また防災マップ作成や避難経路誘導表示板を設置し、地域住民の災害に対する情報共有と、災害時の避難の円滑化を図る。 このほか、講演会や体験型防災イベントや合同防災訓練を実施することで、豊町と東新町の多世代間交流を促進し、コミュニティの醸成と災害時の協力体制の構築を図る。							
番号	一体的に実施することにより期待される効果						備考
C-001	防災マップを作成・配布することにより、災害時の指定緊急避難場所や指定避難所への避難経路の把握を促すとともに、日常からの防災意識の向上を図ることで被害の軽減を図る。						
C-002	防災マップに基づく避難経路の誘導表示板を設置することにより、災害時の避難活動の円滑化を図るとともに、日常から避難経路の周知を図ることで被害の軽減を図る。						
C-003	防災コミュニティセンターにおいて、講演会等を開催することで、住民の日頃からの防災意識の向上を図る。						
C-004	東豊地区全体を対象とした防災訓練を実施することで、地区の防災拠点である防災コミュニティセンターと他の指定緊急避難場所等との非常時における連絡及び誘導体制の確認と強化を図る。						

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業				直接 間接	事業者	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象						R2	R3	R4	R5	R6		
合計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考

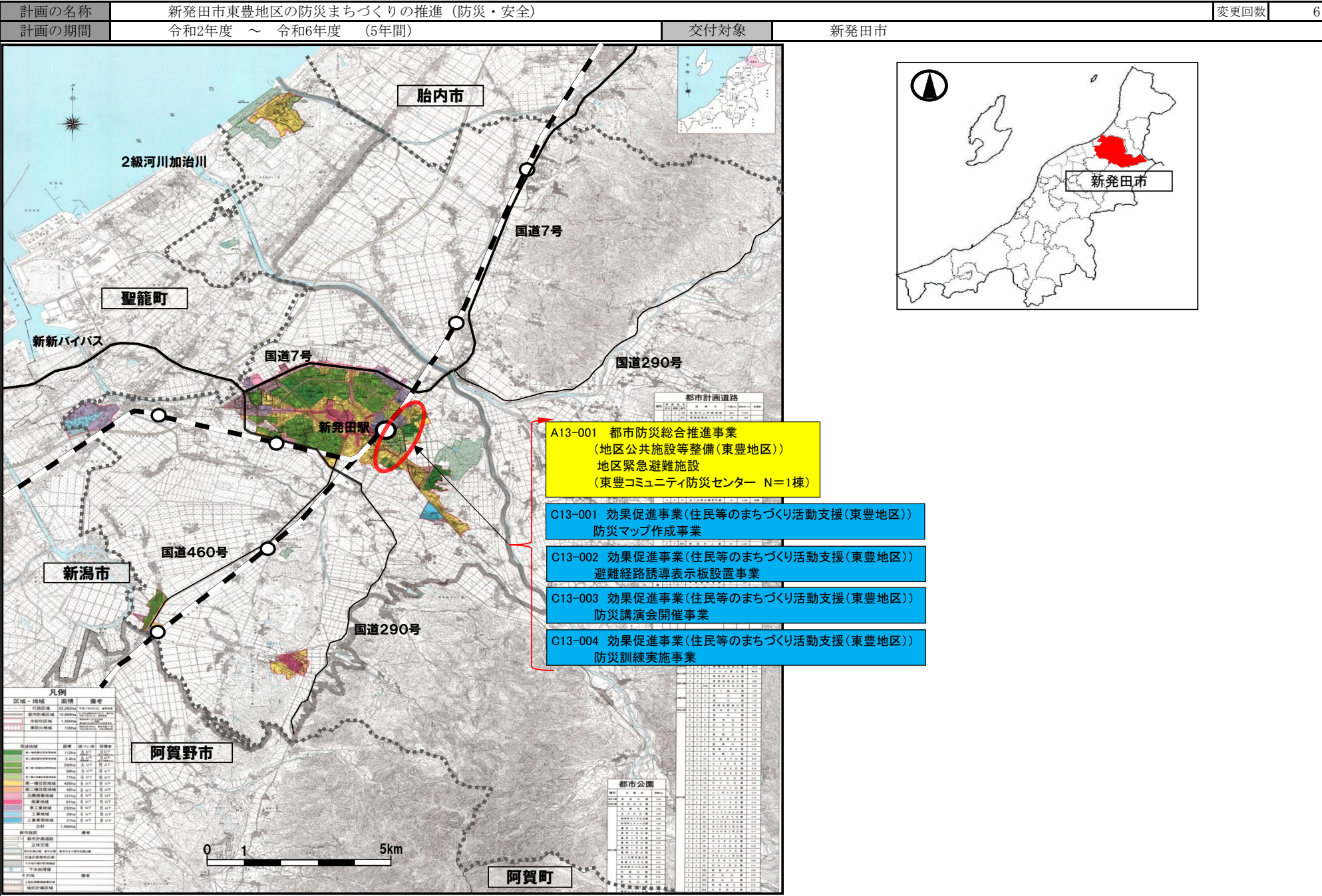
交付金の執行状況

(単位：百万円)

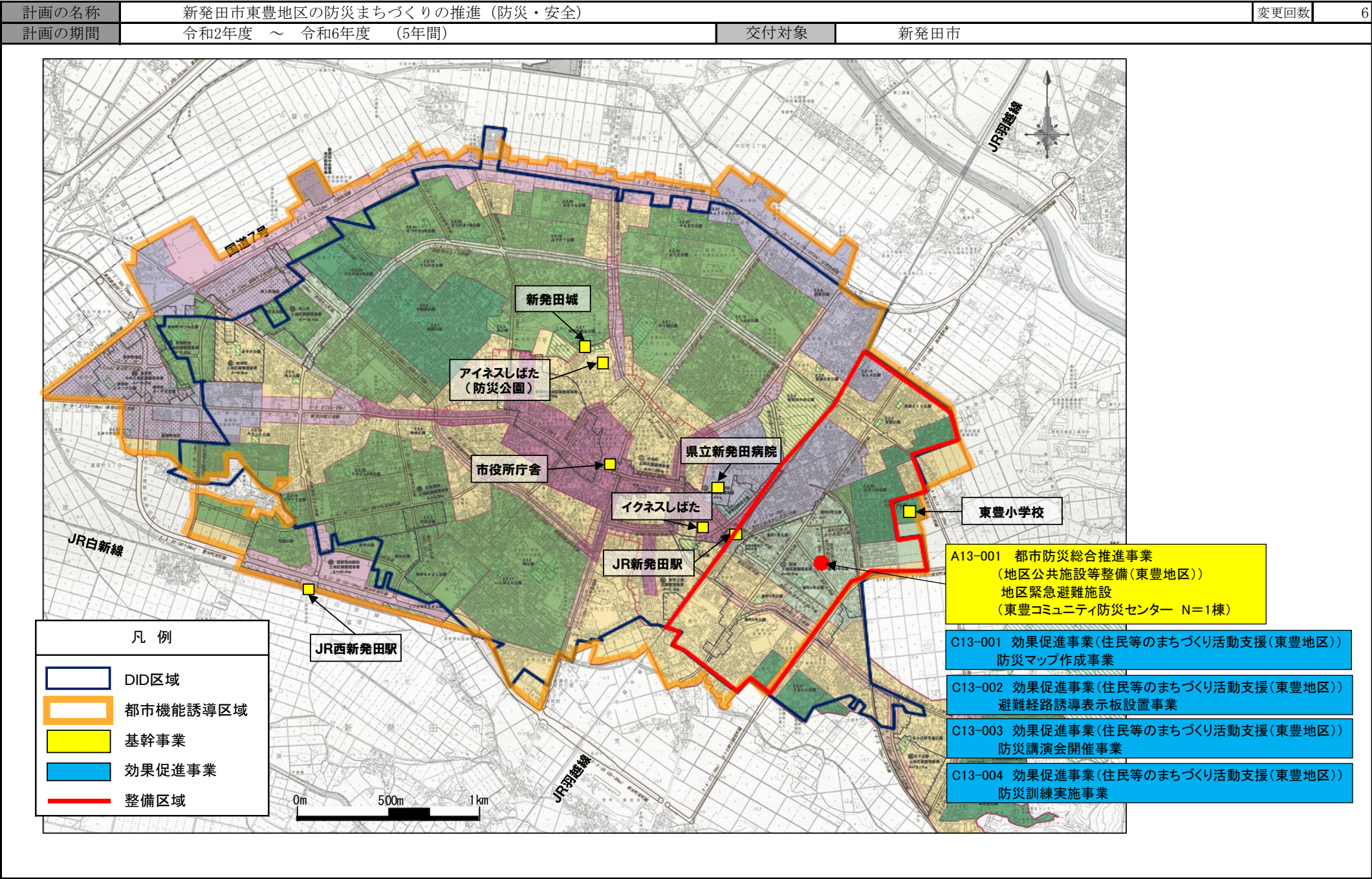
	R2	R3	R4	R5	R6
配分額 (a)	19.9	243.5	1.0	5.7	14.9
計画別流用 増△減額 (b)	0.0	0.0	0.0	0.0	
交付額 (c=a+b)	19.9	243.5	1.0	5.7	
前年度からの繰越額 (d)	0.0	0.0	0.0	0.0	
支払済額 (e)	17.4	217.5	1.0	5.7	
翌年度繰越額 (f)	0.0	0.0	0.0	0.0	
	うち未契約繰越額 (g)	0.0	0.0	0.0	
不用額 (h = c+d-e-f)	2.5	26.0	0.0	0.0	
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	12.6%	10.7%	0%	0%	
未契約繰越＋不用率が10%を超えている場合その理由	一般入札により、見込んでいた事業費よりも安価に契約したため	一般入札により、見込んでいた事業費よりも安価に契約したため			

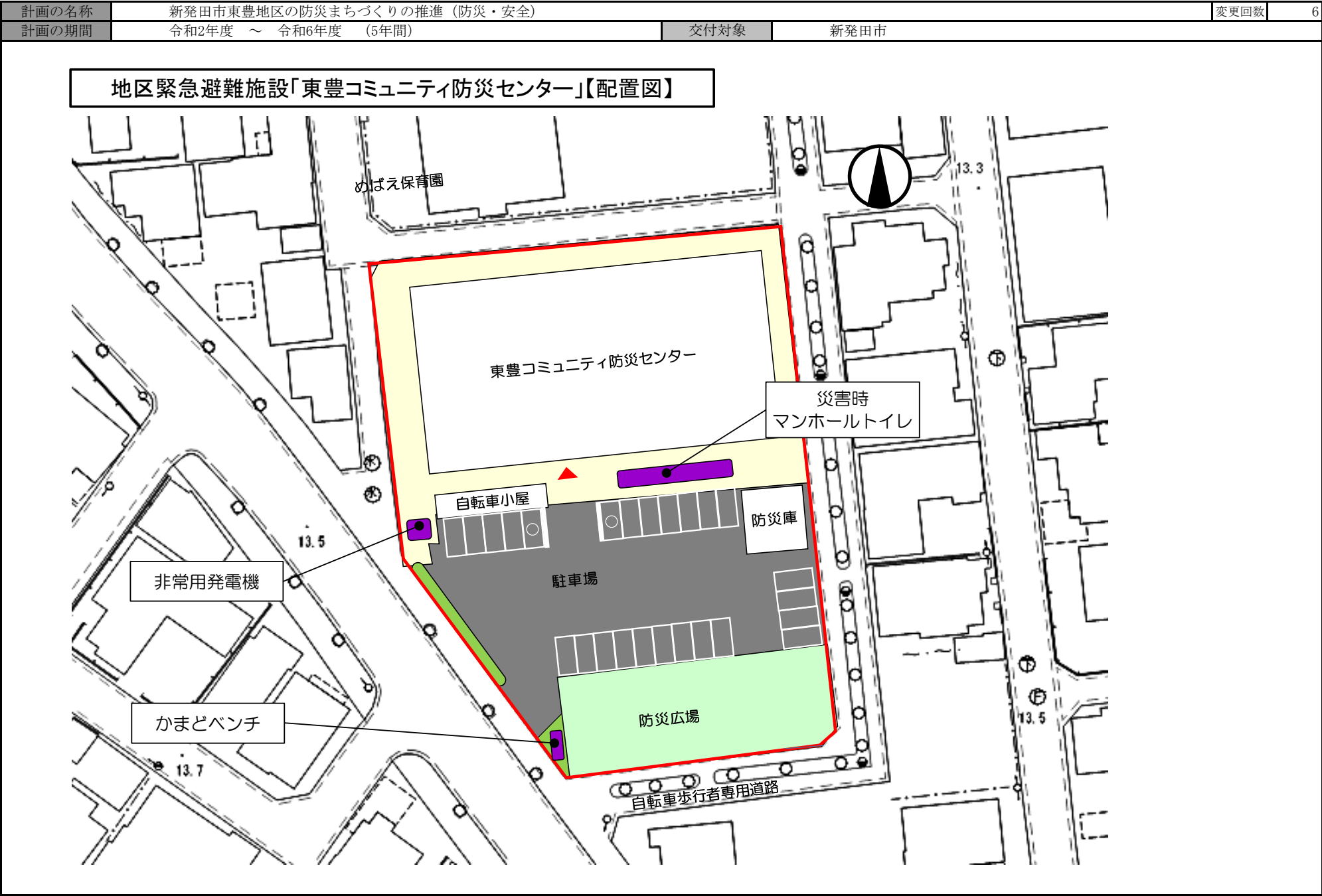
※ 令和2年度以降の各年度の決算額を記載。

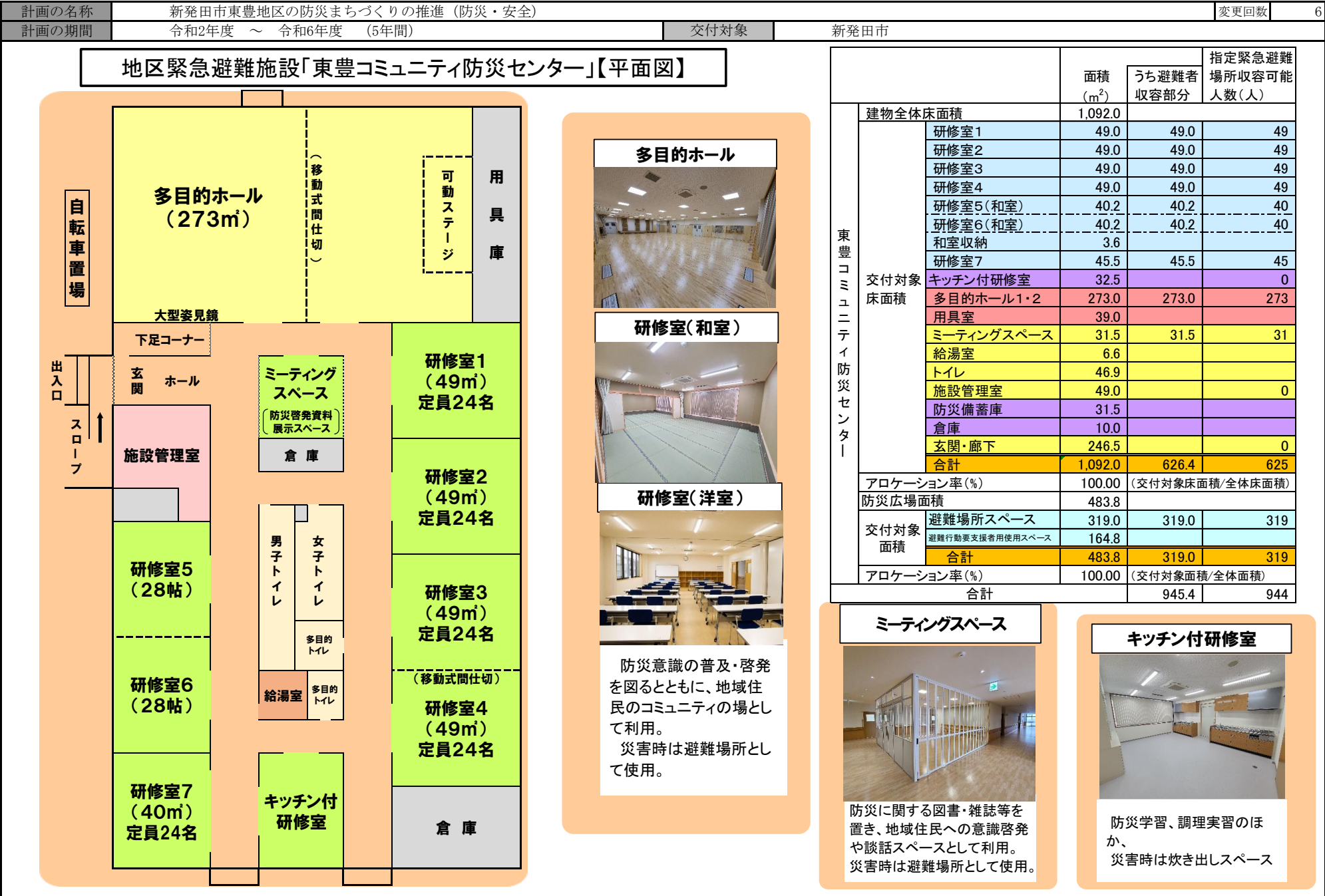
(参考様式3) 参考図面 (防災・安全交付金)

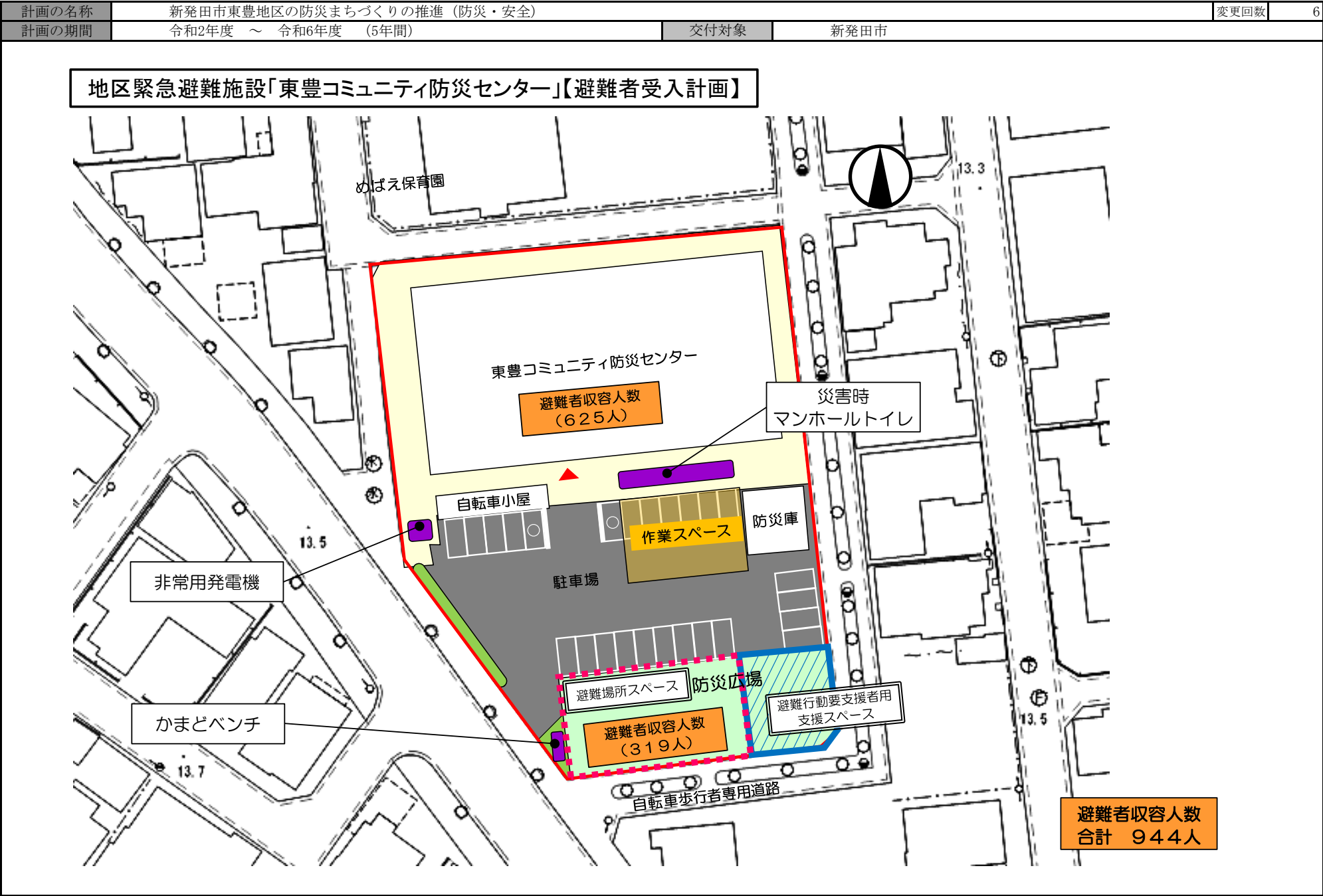


(参考様式3) 参考図面 (防災・安全交付金)









社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称:新発田市東豊地区の防災まちづくりの推進(防災・安全)

事業主体名:新発田市

チェック欄

Ⅰ. 目標の妥当性	
①上位計画との整合性	○
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	○
Ⅱ. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
②定量的指標の明瞭性	○
③目標と事業内容の整合性	○
④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	○
Ⅲ. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の可能性)	○
②地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の可能性)	○